

総務産業委員会報告書

令和6年2月2日

備前市議会議長 守井秀龍 様

委員長 山本 成

令和6年2月2日に委員会を開催し、次のとおり調査したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	調査結果	備考
1 安全・防災についての調査研究	継続調査	—
2 上下水道事業等についての調査研究 ① 上下水道事業に関する条例の一部改正について ② 坂根浄水場の整備状況について（委員派遣）	継続調査	—
3 文化観光についての調査研究 ① 備前焼ミュージアム新築工事の進捗状況について ② 新美術館の設置に関する条例の制定について	継続調査	—
4 地域開発についての調査研究 ① 旧アルファビゼン整備事業の進捗状況について	継続調査	—

<報告事項>

- ヴァロリス市との姉妹都市締結について（秘書課）
- 債権放棄について（税務課）
- 第71回備前市えびす駅伝競走大会について（スポーツ振興課）

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
報告事項	2
閉会中の継続調査事件	5
安全・防災についての調査研究	5
上下水道事業等についての調査研究	10
文化観光についての調査研究	10
地域開発についての調査研究	12
閉会	15

総務産業委員会記録

招集日時	令和6年2月2日（金）		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時30分	開会　～	午前10時34分	閉会
場所・形態	委員会室	閉会中の開催		
出席委員	委員長	山本　成	副委員長	内田敏憲
	委員	尾川直行		石原和人
		森本洋子		藪内　靖
		松本　仁		
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等		議長		
傍聴者	議員	なし		
	報道	なし		
	一般	なし		
説明員	市長公室長	今脇誠司	秘書課長	神田順平
	総合政策部長	濱山一泰	危機管理課長	竹林幸作
	総務部長	今脇典子	税務課長	星尾雄二
	日本遺産・観光部長 兼文化事業推進室長	大岩伸喜	文化事業推進課長	片岡英史
	文化スポーツ部長	森　優	スポーツ振興課長	山本敏博
	都市整備部長	河井健治	都市整備部次長	瀬口俊明
	市街地活性化政策 課長	祇園進太郎	上下水道課長	池本吉弘
審査記録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○山本委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席は7名でございます。定足数に達しておりますので、これより総務産業委員会を開会いたします。

本日は、御案内のとおり、11時から、岡山セラミックス技術振興財団との意見交換会を予定しておりますので、委員会の運営につきましては格別の配慮をお願いいたします。

また、後ほどお諮りさせていただきますが、午後1時30分より、坂根浄水場への現地視察を予定しておりますので御承知おき願います。

それでは、早速議事に入ります。

***** 報告事項 *****

まず、報告事項から行います。

レジュメに沿って各課より順次御報告をお願いします。

なお、報告事項ごとに質疑を行い、質疑が終了した案件の説明員の方におかれましては、都度御退出いただいて結構でございます。

それでは、秘書課より御報告をお願いします。

○神田秘書課長 ヴァロリス市との姉妹都市提携について御報告させていただきます。

昨年8月定例会で御承認いただきましたヴァロリス市との姉妹都市提携についてですが、令和6年1月16日にヴァロリス市役所におきまして本市市長とヴァロリス市長との間で姉妹都市協定を締結いたしましたので、御報告いたします。

○山本委員長 質疑のある方の発言を許可いたします。

○尾川委員 契約書があると思うけど、それは見せてもらえんのかな。

○神田秘書課長 本日は御用意しておりませんが、後刻調整させていただいて提出することは可能かと思います。

○尾川委員 それは議会で承認するという事になって、議会議決したけど、細かい点をやっぱり、全面信用してねえわけじゃねえけど、8月からこれだけ日にちがあって、こういう契約を締結しようとか、こういう内容の文言を入れていこうとか、全て任せというのは分からんことはねえけど、わしはいつも言うけど、やっぱり市民に対して話をしようということ意識してやってもらいたい。

○神田秘書課長 御意見ありがとうございます。

8月定例会の議案の参考資料にも添付させていただいておりましたが、協定書に基づきまして調整したものを協定書として締結させていただいておりますので、御理解いただけたらと思います。よろしくをお願いします。

○尾川委員 契約というのはやっぱりそのときの駆け引きじゃから、市と市かもしれんけど、国と国の話と思う、わしは。外国との提携というのは。国と国とは対等と思うとるから。やっぱり

契約は、どういうふうに契約していくかということは意識してもらおうかと、無理して契約してもらわなくてもええわけじゃ、極端な言い方したら。外交なんじゃと思うとります。その点、認識しといてください。

○山本委員長 ほかに質疑はありませんか。

○石原委員 来年度の予算編成も現在もう佳境に入っとなでしようけれども、あくまで現時点ですけど、これまで海外3都市との間で国際交流ということで、子供さんを中心に先方へ行かれる年があったり、逆にお迎えする年があったり、それがヴァロリス市さんとの提携においても、そういう形で備前市の子供さんを中心に、例えば行かれたりとか、逆にあちらの青少年の皆さんをお受け入れされたりというようなところで調整をされとんでしょうか。

○神田秘書課長 議案提案時にも御説明申し上げましたが、交流事業につきましては当面教育とか文化、それから産業等の文化的交流とか人的交流を通じまして、両市の相互理解を深めていくのではないかなと思っておりますが、私は予算査定に入る立場ではございませんので、その部分については分かりかねますけれども、現在、予算編成中でございますので、なかなか全てにおいて一足飛びというわけにはまいりませんけれども、各分野において両都市で確認が取れたものにつきましては、今後、予算計上とかも含めて上がってきて、皆様方、委員の方に御提示させていただく運びになるのではなかろうかなと思っております。

○石原委員 現状では企画課が受け持たれて調整をされたりというところで、所管は企画課ということでしょうか。

○神田秘書課長 各分野ごとの案件によるかと思えますけれども、先ほど石原委員がおっしゃられましたように、子供たちの国際交流という相互交流のことであれば企画課が今までは主体としてやってございますけれども、教育分野のカテゴリーになるものであれば、場合によったら教育委員会ということも可能性としてはゼロではなかろうかと思っております。

○山本委員長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、次に移らせていただきます。

次に、税務課より報告をお願いします。

○星尾税務課長 税務課より、債権放棄について報告させていただきます。

備前市債権管理条例第8条第1項の規定に基づき、本年度、2件の私債権を放棄いたします。

つきましては、同条第2項の規定に基づき、2月定例会で報告する予定でありますので御承知おきください。

○山本委員長 質疑のある方の発言を許可いたします。

○尾川委員 債権放棄するという内容、概要を簡単にええから教えてください。何を放棄するやらよう分からない。

○星尾税務課長 今回、放棄する私債権ですが、住宅新築資金の貸付金の償還金に当たります。

今回2件、放棄するわけですが、昭和50年代に貸付けを行ってありました住宅新築資金が1件と住宅改修資金が1件でございます。2件合わせて、金額的には約600万円を放棄するように考えております。

○山本委員長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、次に移らせていただきます。

次に、スポーツ振興課より報告をお願いします。

○山本スポーツ振興課長 それでは、スポーツ振興課より御報告をいたします。

今月11日、日曜日に、第71回備前市えびす駅伝競走大会を実施いたします。

本大会は、岡山県内でも有数の歴史と伝統を誇る大会であります。

今年度は、備前市内外から、中学校の部39チーム、一般の部70チームから申込みがあり、約800名の方が参加されることとなります。

当日は、松本橋から鶴海橋までの区間につきまして、9時20分から12時30分頃までを交通規制の実施といたしますので御注意いただけたらと思います。

また、お忙しいとは存じますが、備前市で行われる駅伝大会にお越しいただきまして、ぜひ御声援をいただきますようよろしくお願いいたします。

○山本委員長 質疑のある方の発言を許可いたします。

○尾川委員 今、39と70チームという説明があったけど、去年とか、増えとんかどうか、子供は減りようから減りようりゃへんかと思うたりしょうんじゃけど、その辺。参加者が、チーム数が増加傾向なんか、それとも減ってきとんかどうかという。

○山本スポーツ振興課長 すいません。昨年の実績が、ちょっとすぐに資料がございませんので、また後ほどでもよろしいでしょうか。

○尾川委員 ええよ。えびす駅伝というたら結構ブームになつとるような気がすんじゃ。昔の話でウィンブルドン大会と一緒に、倉敷高校などよそばあが優勝するという文句言ようたことがあるけど。地元も今頑張りようとは思うけど、そんな感じで白けとるようなことはねえんですか。

○山本スポーツ振興課長 確かに、県外市外の高校、特に倉敷高校は全国大会に行くような強豪ですので、そちらのほうが優勝することは多いと思いますが、そういうトップレベルの選手とかが参加していただけることで、多分盛り上がりはあると思います。

○尾川委員 あまり地域性のことばあ言うたらな、前からそういう問題あったんじゃ。倉敷高校ばあが独り勝ちすると言ったけど、まあ、そう言うなという言ったんじゃけど、とにかく駅伝がさせてもらえんからな、大体、御存じのとおりで。岡山県内でも唯一残つとるぐらいになつとりゃへんかと思う。だから、大事に、今、地域とも、交通、安全上の問題で通行止めにするということで、去年あたりからやりよんじゃけど、その辺はよう地域との兼ね合いという

か、箱根駅伝のことを考えりゃあ、小めえことを言うなと言うときゃええんじゃけど、何とか継続していくように頑張ってもらいてえと思うんで、その辺地域と、気を遣いながら継続するようにやってほしいと思う。

○山本スポーツ振興課長 地域の方にも御周知させていただいて、交通規制等は実施させていただいて、安全面は確保しながら大会を運営させていただけたらと思います。

昔からある歴史と伝統のある大会ですので、ぜひ今後も末永く続けていけたらと考えております。

それから、先ほど委員の御質問ありました去年の参加数ですけれども、去年は95チーム参加していただきましたので、去年よりも増加はしております。

○山本委員長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので質疑を終了いたします。

説明員の方におかれましては御退室いただいて結構ですので、ありがとうございます。

***** 閉会中の継続調査事件 *****

次に、閉会中の継続調査事件に関する調査研究を行います。

まず最初に、安全・防災についての調査研究を行います。

本件につきましては、内田副委員長から御提案をいただいておりますので、まず内田副委員長より質疑をお願いいたします。

○内田副委員長 今年、元旦早々、本当に大変なことになってしまいましたけど、平成7年1月17日、阪神・淡路大震災のときに、私も、ちょうど翌々日の1月19日に、地元の運送業者からトラックをお借りして緊急物資を運んだ経験があるものですから、特にこういったことについては関心を持っております。

そういう中で、いろいろお聞きしておいた案件については、もう十分過ぎるほど資料をいただいておりますので、何点かだけ、ちょっと確認も含めて質問を申し上げたいと思います。

まず、食料品の備蓄品一覧のところ、食料品9、150食在庫があるようですが、この賞味期限、消費期限ですか、分かればお教えいただきたい。

○竹林危機管理課長 食料品ですけども、購入日がまちまちですので、消費の切れる期限はそれぞれですが、例えばカレーセットでしたら2027年9月が主なものになっております。アルファ米等につきましては、26年12月とか、そういった消費期限のものが、今、こちらのほうへ備蓄としてはございます。

○内田副委員長 分かりました。それから、私が1月19日に取りあえずトラックへ積んだのはほとんど飲料水だったんです。食料に関しては、その当時、備前市場さんがばらの貯蔵庫を持っておったものですから、そこにある全部ぐらい持っていったという記憶があるんです。

特に、水が一番必要という中で、備前市が備蓄している1,512本は、人口割合にして適正

な数でしょうか。

○**竹林危機管理課長** 今回の能登半島地震でも、かなり水の需要というのがあったということで認識しております。

そういう中で、うちの備蓄の本数を見たときに、やはり私も、もう少し、ちょっと不足しているという感覚は持っておりますので、今後、飲料水の備蓄は重点的に充足していく必要があるのかなという感覚では思っております。

○**内田副委員長** それから、この大惨事があって、危機管理課として、各総区長さん、そういった方に危機管理の意味で説明というか、会議というか、そういったことはされとんでしょうか。

○**竹林危機管理課長** 今回の地震を受けてというと、改めてということではないですけども、例年4月以降に行われているかと思うんですけど、自治会の協議会、そういった場におきまして、時間をいただいて、いろいろ防災関係につきましてもお知らせなりお願い等も例年させていただいているというところではございます。

○**内田副委員長** 結構です。はい、分かりました。

○**山本委員長** ほかに質疑はありませんか。

○**森本委員** 今回、大きな災害ということで、1月4日に早々行かれたと思うけれども、行かれてみて、いろいろ御感想もおありかと思うけれども、備前市に足りないものということが見えてきたことがあったりすれば、御検討をもうされているのであれば、ここで少しお話を聞かせていただけたらと思うが、まだ協議をされていないんですしたら、それでもいいんですけど、せっかく行かれているので、されていないんですしたら、今後しっかりお話をさせていただきたいということと、もしされているのであれば、南海トラフもいつ起こるか分からないと言われてるので、少し検討された内容を教えてくださいなと思うけど、いかがでしょうか。

○**竹林危機管理課長** 今回の地震を受けまして、被災地の状況等もお伺いする中で、先ほど内田委員の際に話もありましたけど、備蓄品の関係の充足、飲料水を中心というところも内部では検討しております。

それから、避難所運営という面で、避難所の停電等になった場合の電源の確保、そういったものも今後必要になるのかなというところで検討しております。

現在、来年度当初予算編成というところも進められておる中で、そういった面も来年度対応ということも含めて検討はしているところでございます。

○**尾川委員** 1点目が、茶臼山へ備蓄倉庫をつくるという計画があって、その計画もどねえなっとなか、前の市長のときじゃったから、今度は変わっとなかもしれんけど、備蓄倉庫の在り方というのはどういうふうになっとなかな。

○**竹林危機管理課長** 茶臼山の備蓄倉庫という件については、私はちょっと、すみません。

○**尾川委員** 茶臼山の上に公園があるが、そこへ備蓄倉庫をつくるという計画があって、かなり国からも予算をもらって動くということになっとなか。あれがどねえなっとなかなと思

うて、ちょっとその辺確認したいけど、分からなんだから、また調べて教えて。

○竹林危機管理課長 ちょっとその辺は確認させていただきます。

あと、備蓄品一覧で出させていただいています保管場所にもございますけども、現在は、吉永総合支所でありますとか日生総合支所、それから伊部地区にあります倉庫等で空きスペースを活用させていただいて、分散備蓄という形で現在のところは対応させていただいているところでございます。

○尾川委員 それからもう一つ、備蓄はたくさん、前に他の自治体との比較表をもらったことはあるけど、数さえたくさんキープすりゃあええというものでないけど、一番気になるのが、昔は遠い親戚より近くの他人のほうが当てになると言ようったけど、これは近くは当てにならんから、他の自治体とのバックアップ体制、まず何かあったときにそういう助け合うというか、それこそ協定というか、それと国のほうで1次的、2次的、3次的というふうにバックアップ体制というのは規定があるんじゃないかと思うけど、わしもそこまで防災計画をようきちっと読み切ってたねえけど、そのあたりの対応というか、備蓄をたくさん用意すりゃあええけど限界があるし、今頃は自分で、個人で確保せえ、確保せえと言う、1週間分、3日と言ったのが1週間じゃとかと言ようるけど、そう簡単なもんじゃねえけど、そのあたりはどういうふうに、他の自治体との連携というか、助け合うというか、例えば近畿圏とか中京圏とか、そういうふうなバックアップ体制というのはどうなっとんかなと、ちょっと分かったら教えてもらえんじやろうかな。

○竹林危機管理課長 その辺の緊急時の備蓄品等の対応ですけども、県のほうからも、南海トラフ等を想定した備蓄というようなことの計画もありまして、県も含めて各市町村の備蓄を計画していきましょうというようなものも示されております。

そういった中で、連携して県のほうとも対応をしていくような形にはなりますが、県内の市町村、他の市町村とも防災協定等も結んでおりますので、そういった協力体制というのは非常時には当然やっていくものというふうには予定しております。

○尾川委員 段ボールベッドなんか備蓄品であったと思う、理解しとったんじゃないけど、見る限りじゃ、ねえような感じ。それから最近はもう快適性というか、プライバシーの保護というか、カーテンとか、そういう個人の保護、そういうふうなところの備蓄品という考え方というのは、たしか段ボールベッドを買うと前の課長は言ようた。どうもわしが見る限りねえような感じがすんじゃないけど、そのあたりはどんな、もう体育館へ、地べたへ寝えというたって、そんな時代じゃねえでというて。昔は寝られたらええという生活かも分からん、今は違うんでねえかというて、ある者に話をしたんじゃないけど、その辺はどうなっとんかな。これはどうも、わしは段ボールベッドを買うように記憶しとんじやけど。

○竹林危機管理課長 今お出ししている資料については、いわゆる消耗品的な備蓄品を掲載させていただいておりますけども、別途そういった簡易ベッドにつきましても、指定の避難所を対象に、ベッドでしたら320程度、それぞれそれを分散して配置はさせていただいております。

また、プライベートが確保できるようなパーティション、そういったものも各避難所にトータル160個ほど配置はさせていただいております。

○尾川委員 備蓄品でよそを助けるというんでねえけえ、自分のところもあれじゃけん、もしもよそが何か異常事態が、緊急事態が起きたときに、助けるという意味でもやっぱり備蓄品というのはある程度用意しとく必要があると思うんで、その辺の感覚も、今はええですけど、そういう感覚を持って、担当課長はころころ替わるから、専門を勉強せん間には替わるという感じじゃけえ、ちょっとその辺もやっぱり、プライバシーとかベッドとかという時代じゃから、備蓄品の中でどのくらい用意すりゃええかという問題はあるけど、その辺もよう研究して、やっぱり市民のために、そういう何か異常があったらいけんのやけど、あったときにはこうじゃというものを示して、安全・安心というのがやっぱり一番じゃと思う、わしは。市民にとっては。

震度6ということになつとんじゃからな、備前市は。震度6というたらかなりよ。私ら、震度4しか経験してねえからね、震度4しか、阪神大震災のときに震度4を経験したけど、震度6というたらかなりのもんじゃと思う、腰が抜けてしまやへんかと心配しようんじゃけど。

そういうことで、その辺を研究して、次の機会に説明してもろうたらと思うんで、よろしゅうお願いします。

○藪内委員 例えばこういう備蓄の食料品ですが、期限が近くなるというか、期限切れのものはどうされるんですか。

○竹林危機管理課長 食料品等については期限が必ずあるということで、そういった期限が近づいたものにつきましては、例えば自主防災会さんが防災訓練をされる場合とか、そういったときに何か提供できるものがないかという御相談も結構ありますので、そういったときに賞味期限が近いものから御活用いただくというようなことで、今、対応はさせていただいております。

○藪内委員 もったいないんで、破棄することなく、ロストフード、そういうことに注意してお願いします。

それと、生きるということが第一なんで、やっぱり長期化すると、何か今回の能登半島でも、ちょっとおにぎりはもううんざりだとか、カレーももういいというようなことを聞くんで、その辺、もう少しメニュー的に工夫したらどうですか。

○竹林危機管理課長 こちらも、ある程度いろいろな品目をということで、その辺は留意しながらやっていきたいとは思っております。

○藪内委員 これは、本当、目の前に来ると多分何もできないのが現状だと思うんで、今、幸い何も無い平時にこそ、いろんなことを想定してやってほしいですが、例えばそれぞれの数量ですけど、かなりばらばらというか、これはどういう範囲まで想定してこういう数字が出ているんでしょうか。

○竹林危機管理課長 先ほどもちょっとお話もさせていただいたんですけど、県が想定しています備蓄量等も参考に示されておりますので、そのあたりを目指してというところで、現時点では

まだ足りていないという状況の中で、年々予算を確保させていただいて、その範囲で備蓄を増やしていったという状況ではございます。

○藪内委員 本当に、能登の方には申し訳ないですけど、このタイミング、この時を生かして、食料もそうですが、水、生理用品とかトイレ、もうそれはやっぱり共同生活すると一番だと思うんで、その辺を充実させるようによく検討してください。これはお願いします。

○石原委員 いつぞや可決された伊部、片上辺りで防災公園基本構想策定業務委託料がございましたけれども、そちらの検討の進捗はいかがでしょうか。

○河井都市整備部長 今現在、コンサルに委託を発注して検討をしている段階でございます。

○石原委員 では、近々その構想が策定されるというところで、待ち受けておったらよろしいでしょうか。

○河井都市整備部長 時期はまだ明確にいつ頃というのはお示しできませんが、現在、コンサルタント業者において現地調査を含めて調査をしているところでございますので、市の内部でその調査結果に基づき、ある程度具体性が見えれば、皆様方にも報告してまいりたいと思っております。

○山本委員長 ほかに質疑はありませんか。

○尾川委員 課長、わしら気になるのはな、能登と、特に珠洲市なんかは焼物の問題で、結構、わしらは身近なところじゃと思うとるわけじゃ。職員の派遣というのを書いてあるけど、物資何でもかんでも持ってくたという、向こうも困るからというのもあったと思うけど、備前市としたら、総社市やこう何やかんや持っていくというてから、大げさに書いとったけど、新聞に。備前市は何を持っていったん。どういう支援を、能登の被災地に持っていったんかというのは、この表じゃあ職員の派遣は分かるけど、何を持っていったかというて、本当に支援をしてあげたんかなというのがやっぱり見えにゃいけんと思う、これは。

これじゃあ、どうもちょっとよう、内容は物資支援と書いとるけど、情報を取りに行ったというふうに、わしはこの2人が行ったのはどういう状況かを見に行ったというふうに解釈しとるけど、そのあたり、ちょっとどんなものを、どの程度、支援物資を持っていったんかということをやちょっと、分からんけえな、これじゃあ。

○竹林危機管理課長 資料の1番にあります調査派遣ということで、発生直後になりますけども、被災地方面へ出向いております。

こちらの内容としましては、備前市とゆかりのある福井県の越前町とか、石川県の加賀市、小松市さんあたりを訪問させていただいて、現地の状況をお伺いさせていただいております。

そのあたりでは、ある程度、被害が少なかったというところで、一部避難所も開設はされとったようですけども、避難者数も限られているというような状況であったということでございます。

一部、加賀市さんに対しましては、持参してました非常食、カレーセット等を提供させてい

ただいております。また、その時点で、既に石川県さんの物資拠点もかなり物資が次々と搬入されているという中で、もう物資の受入れを一時停止されているというような状況もあったんですけども、残り、乗用車1台でこのときの訪問はさせていただいていますので、なかなか運搬できる量というのが限られていたんですけども、持参していた内容としては、冬場ですので懐炉、それからこちらの備蓄品で備えていましたアルミブランケット、それからブルーシートを石川県さんの物資拠点にお預けさせていただいたということでございます。

○山本委員長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、以上で安全・防災についての調査研究を終わります。

ここで濱山総合政策部長と竹林危機管理課長は御退席いただいて結構です。

次に、上下水道事業等についての調査研究を行います。

まず、上下水道事業に関する条例の一部改正について、執行部より御報告をお願いします。

○池本上下水道課長 上下水道課から、2月議会に条例改正について議案提出いたしますので、御報告いたします。

まず、備前市水道事業給水条例の一部改正ですが、令和6年度から、水道事業を所管する国の省庁のほうが生労省から国土交通省へ変更されることに伴う表示の変更ということです。

次に、備前市水道事業の設置等に関する条例及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正ですが、こちらは地方自治法の改正に伴いまして表示されている条項のずれが生じますので、そちらを整理する変更になります。

以上の条例改正を議案提出いたしますのでよろしくお願いいたします。

○山本委員長 本件につきましては、次期定例会に提出される案件でありますので、報告を受けるにとどまりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは次に、坂根浄水場の整備状況についてですが、本件につきましては、この後、委員派遣をお諮りいたしますが、現地視察の際に説明いただくこととし、ここでの質疑応答は控えたいと思いますので御了承願います。

それでは、現在、整備が進められております坂根浄水場への委員派遣についてお諮りいたします。

本日の委員会閉会后、当該施設へ全委員を派遣したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決定し、議長に対し委員派遣を要求いたします。

以上で上下水道事業等についての調査研究を終わります。

ここで池本上下水道課長は御退席いただいて結構です。

次に、文化観光についての調査研究を行います。

それでは、備前焼ミュージアム新築工事の進捗状況について、執行部より説明をお願いします。

○祇園市街地活性化政策課長 備前焼ミュージアム新築工事の進捗状況を御報告いたします。

先週、写真を撮ってきましたので、お手元の資料を御覧ください。

こちらの写真は1月25日に撮影したものです。

上と下、2枚あるんですが、どちらも現在工事の準備をしている段階のため、まだ構造物等はございません。

この日の作業は、測量により敷地の形状を把握し、建物の位置を確認することを行っていました。

また、1月30日には、安全祈願祭を無事に終えることができました。それと、同日、暴力団等排除協議会も発足いたしました。

今後の作業としては、くい工事や基礎工事に向けて材料や機材の手配を進めてまいります。

○山本委員長 質疑のある方の発言を許可いたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、以上で文化観光についての調査研究を終わります。

ここで大岩日本遺産・観光部長と片岡文化事業推進課長は御退席いただいて結構です。

○片岡文化事業推進課長 次第にはございませんが、1点だけ御報告だけさせていただきたいと思っております。

今回の定例会におきまして、現在、先ほど御説明ありました備前焼ミュージアムの新築工事で新しく設置される新美術館の設置条例に関する条例を制定する条例の議案を上程し、開館に向けて、その条例の中で運営面に関する等を盛り込んだ条例の制定を上程したいと考えております。

○尾川委員 今まで備前焼ミュージアムのあるから、新たに設置せえでもええんじゃねえんか。あるんじゃねえん、今運営しようるのが。勝手にはできまあ、あんなもん、決めとかな。

○片岡文化事業推進課長 従来の備前焼ミュージアムに関しましては、その内容が、作品が備前焼に特化したような美術品の条例の制定にもなっておりますので、そういったところのその事業の詳細な、今後、新しい美術館では、備前焼ではなく、いろんな美術作品が展示できるような施設ということでの事業の修正であったり、今後、またその条例の中では指定管理制度を導入したような運営も盛り込めるような形で条例の中に組み込めたらと考えております。

○尾川委員 今、条例があるはずじゃから、制定じゃなしに改定でええんじゃねえんかなど。中身を変えていったらええんじゃねえんかなという話じゃけど。言葉尻をつかまえて言うんじゃねえんよ。今まであったんじゃけ、現実には、備前焼ミュージアムがあつて、運営して。運営規則というのがちゃんと条例として定められとるはずじゃが。

○片岡文化事業推進課長 すいません、ちょっと御説明が漏れておりました。従来、備前焼ミュージアムと、備前焼というところで特化しておりましたので、新しい美術館はその他のいろんな

美術作品も展示できるような形を考えておりますので、館の名称も備前焼というところに特化したものではなく、新しい美術館というような名称で考えていきたいと思ひまして、それで新たに制定という形で御報告をさせていただきました。

○尾川委員 その辺は事前審査じゃねえけど、運営の問題というのはちょっと聞きたかったからそれで質問させてもろうた。

○山本委員長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、以上で文化観光についての調査研究を終わります。

ここで大岩日本遺産・観光部長と片岡文化事業推進課長は御退席いただいて結構です。

次に、地域開発についての調査研究を行います。

それでは、旧アルファビゼン整備事業の進捗状況について、執行部より御説明をお願いします。

○祇園市街地活性化政策課長 旧アルファビゼン整備事業の進捗状況を御報告いたします。

備前焼ミュージアムの工事と同様に写真を用意しましたので、御覧ください。

こちらの写真も1月25日に撮影したものです。

1ページ目は、外観の写真です。

昨年12月初旬から組み立て始めた足場も設置が完了し、外周の防音シート取付けも1月初旬に完了しました。

また、写真でも確認できますが、工事車両の出入口につきましては交通整理員を配置し、安全に通行できるよう対応しております。

次に、2ページ目を御覧ください。

上の写真は屋上を写したものです。

1月24日に、大型のクレーンを持ってきて重機を屋上へ設置しました。今後は、この重機を使いながら建物を上から解体していきます。

次に、下の写真についてですが、1階から4階の店舗だった部分の写真です。

内装材や設備機器等をほぼ撤去が完了しましたので、内部はすっきりした状態になっております。そして、建物内のアスベスト撤去につきましては、予定どおり、12月末に撤去が完了しております。それと、PCBにつきましても、先日の1月31日に撤去が完了しております。

また、備前焼ミュージアムと合同で、暴力団等排除協議会の発足式を1月30日に行っております。

この工事につきましても、引き続き安全で適正な工事執行に努めてまいります。

○山本委員長 質疑のある方の発言を許可いたします。

○尾川委員 スケジュール、今持ってきて見せてもろうとんじゃけど、そのスケジュールで、アバウトなスケジュールじゃと思うけど、予定どおりに順調に進んでおるわけ。

○祇園市街地活性化政策課長 現在、予定どおり工事は進捗しております。

○尾川委員 この写真を見せてもろうて、こんな屋上の重機でやるというのはわしは初めて、びっくりした。こういう工事というので相当騒音が出てくると思うけど、その辺の対策は何か考えてやっとなるわけ。

○祇園市街地活性化政策課長 騒音対策につきましては、1ページ目にもあるように、防音シートで囲って音が漏れないようにしておりますのと、低騒音、振動型の重機の採用もしておりますので、極力、音が出ないようにという配慮はしております。

○尾川委員 これは、従来の削岩機みたいなんじゃないかねえわけ。

○祇園市街地活性化政策課長 削岩機も使うところは出てくると思うんですが、この重機でコンクリートだったり鉄骨関係を破碎しながら作業していく。それと、主要な部分はダイヤモンドカッターとか、カットしながら壊していくんで、あまり大きな振動を起こすような作業をしないような形で撤去ができればと考えております。

○尾川委員 やっぱり粉じんが、それはちゃんと対応しとると言うて、水でもかけてやると思うけど、そのあたりの対策はきちっとこういう方法というんか、きちっとしとるわけ。

○祇園市街地活性化政策課長 粉じんにつきましては、当然ですけども、作業しているところに水を散水しながら、きっちり外に飛んでいかないような対応を考えております。

○尾川委員 その水というのはやっぱりちゃんとした受けをつくって中和するようなこと、セメントばかりじゃろう、コンクリートばかりじゃろう、ほしたらアルカリ性が強えと思うけど、そのあたりの対策というのは特に問題はねえわけ。

○祇園市街地活性化政策課長 飛んでいくのを防ぐためにということですけども、特に水にぬれて問題が起こることはないのと、水で湿らせたものも外に出ないようにというふうには考えております。

○尾川委員 地元でこういった工法は説明しとるわね。こういう解体方法とか、解体の状況というんが、こういうふうになって、騒音とか粉じんはこの程度だとかというのは、ある程度業者が経験しとんじゃと思う、こういう工法を。その辺の説明というのは、やっぱりしとるわけ。

○祇園市街地活性化政策課長 大まかな工法というのは、地元の地元住民、区長さん等にも説明しております。それと、今、月に1回ぐらいのペースでと考えておるんですが、工事通信として、工事の状況をお知らせする情報紙のようなものを施工者のほうで作成して、地区へ回覧できるようにということで配布をさせてもらっています。

○尾川委員 わしが何で心配して言ようるかというのは、工事が止まったりしたら、合併特例債の問題が出てきて、適用にならん可能性、そりゃあ地元がやかましゅう言うから、やむを得んのじゃと言やあ、国も認めるかもしれんけど、やっぱり合併特例債の適用、活用をしとるから、いつまでには仕上げにゃいけんというのをちまたが言ようわけじゃ。

だから、そういう問題で、工事が遅れたりしたり、そんな意地悪でするのはおらんと思うけ

ど、やっぱり万全の体制でやっていかんと、そういう問題はどんなにか、ちまたでは合併特例債がいつまでがエンドで、その辺の適用をせにゃいけんから、気を遣うとるような話をしたりするもんで、ちまたから聞いてくるんじゃないけど、その点は別に心配ないわけ。

○祇園市街地活性化政策課長 アドバイス等、ありがとうございます。

こちらのほうでも、工事が止まらないように、周りに迷惑をかけないように、それと周辺住民の理解を得るように、情報もお伝えしながら工事を進めていこうと思いますので、皆さん、御協力をお願いできたらと思います。

○尾川委員 アルファとは関係ねえけど、周辺の景観という問題で、今植栽があるんじやが。やはりああいう緑は、都計道路の植栽も、樹木がやっぱりかなりぶち切つとるわけ、地元の者も、葉っぱが落ちる、何やら落ちるといったりして言うんじゃないろうけ、わしはいつも比較するのが、岡山県庁の周りの県立図書館の周りの道路幅とあまり変わらんとと思う。2車線で。それで、アクラの木をずっと植えて、結構ええ緑で、ええ景観になつとる。

やっぱりあの辺が、備前市と岡山県と、岡山市か、違いかなと思うたりする思いがあるけど、アルファの前の都計道路、あれも都計道路じゃったと思う。昔の片上鉄道駅前からアルファへ行く道の両側へ植樹がある、木が。その木をかなり、もう1メートルぐらいに剪定しとる。やっぱり景観というか、手入れをしたりせんと、かなり都市景観をええようにして、歩け歩けと言ようんじゃないけど、その辺周囲の環境も考えた、やっぱり景観づくりをぜひやってもらいてえと思つて、わしは個人的には思つて、いつも県立図書館の周りの県庁と図書館へ行く道の沿道にある樹木が、同じ幅、道路幅も2車線じゃから大体一緒じゃ。だけど、きちっとした木が育つていつとるからな。やっぱり手入れしとる。その辺やっぱり市のレベルと言うたら言葉が悪いけど、その辺も考えたやっぱり景観づくりというのを進めてもらいたいなと。

生け垣みたいな小さいサツキとかツツジとか、そういうものにしてしまやええと思つけど、やっぱり全体を通した構想を考えてもらいてえなと思つて、ちょっと旧アルファビゼンとは関係ねえと言うかもしれんけど、周囲の景観ということで、ちょっとその辺の配慮について意見を聞かせてもろうたらと思う。

○祇園市街地活性化政策課長 県立図書館は私も利用するので、あそこの周りにはかなり大きな木がたくさん植えられております。

アルファだけでなく、片上の景観も配慮して、やっぱり町並みというのは考えていくのは非常に重要なことだと考えております。

しかしながら、委員さんも言われたように、維持管理の面でやはりメンテナンスが必要になる面もありますので、メンテナンスのことも考慮しながら、やはり景観に配慮した植栽だったり、そういう見た目は考えた施設にしていきたいと思つております。

○尾川委員 ぜひ、単体の建物だけじゃなしに、全体的なまちづくりということをやっぱり意識してやってもらいてえなと思つて、それが備前市のちょっと落ちとるところでねえかなと思つ

て、比較する町と備前市と違うかも分かんけど、やっぱりそういうまちづくりをやっていかんと誰も住まんようになってくると思う。何ぼ建物をつくっても、そういう感じがするんで、ぜひ、もう少し、鳥瞰というか、要するに広い目で、大きな目で見てもらうて、周囲の環境を見ながらつくっていくということをぜひお願いしたいと思う。

○山本委員長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、以上で地域開発についての調査研究を終わります。

以上で本日の総務産業委員会を閉会いたします。

皆さん、お疲れさまでした。

午前10時34分 閉会